

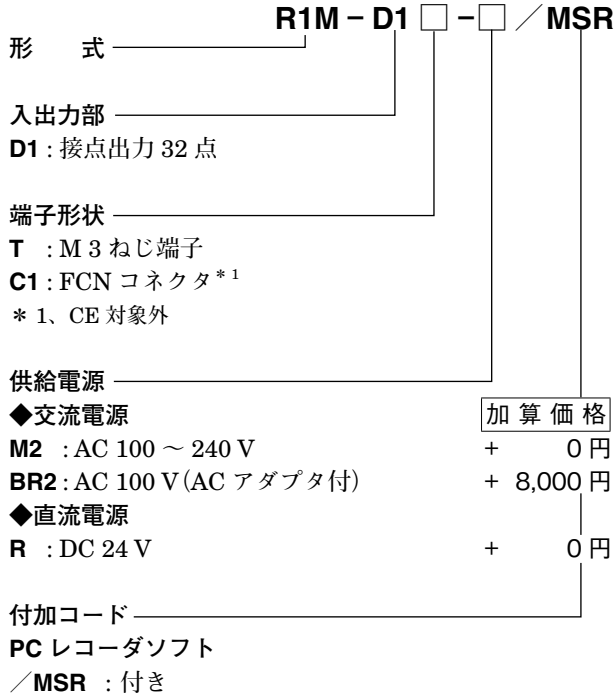
R1M シリーズ

仕様書

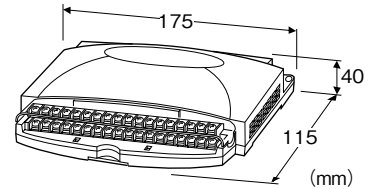
PC レコーダ

形式
R1M - D1

形式



基本価格 80,000 円



主な機能と特長

- パソコンを用いた工業用記録計
- PC レコーダソフトウェア付

アプリケーション例

- 収集・記録されたデータを EXCEL に取込み、データ解析として表形式、グラフ形式にて表示

通信仕様

伝送速度: 38.4 kbps
 通信方式: 半二重非同期式無手順
 制御手順: Modbus-RTU

■ RS-232-C 部

通信規格: EIA RS-232-C 準拠
 伝送距離: 10 m 以下

■ RS-485 部

通信規格: EIA RS-485 準拠
 伝送距離: 500 m 以下
 伝送ケーブル: シールド付より対線 (CPEV-S 0.9 φ)

ご注文時指定事項

- ・ 形式コード (例: R1M - D1T - M2 / MSR)

関連機器

- ・ 専用ケーブル (形式: FCN32)
- ・ コネクタ・ミナル (形式: CNT)
- ・ USB シリアル変換アダプタ (形式: USB - RSAQ □ アイ・オー・データ機器製)

付属品

- ・ PC レコーダソフトウェア CD (1 枚)
- ・ AC アダプタ (BR2 電源時のみ)

機器仕様

接続方式

- ・ 電源・通信部: コネクタ形端子台
- ・ RS-232-C: 9 ピン、D サブコネクタ (オス形)
- ・ 入出力部: M3 ねじ端子接続または FCN コネクタ接続
- アイソレーション: RS-232-C・RS-485 - 出力-電源間
- アドレス設定: ロータリスイッチにより 1 ~ F まで 15 台分設定可能

RUN 表示ランプ: 緑色 LED、正常時点滅

入出力仕様

出力信号: オープンコレクタ 32 点
 コモン: 全点マイナスコモン
 出力定格: DC 24 V 50 mA (抵抗負荷)
 飽和電圧: DC 1.6 V
 誘導負荷を駆動する場合は接点保護とノイズ消去を行って下さい。
 サンプリング周期: 50 ms

設置仕様

供給電源

- ・交流電源: 許容電圧範囲 M2 : AC 85 ~ 264 V
BR2 : AC 100 V
47 ~ 66 Hz 約 10 VA
- ・直流電源: 許容電圧範囲 DC 24 V ± 10 %
リップル含有率 10 %p-p 以下 約 7 W

使用温度範囲: -5 ~ +60°C

使用湿度範囲: 30 ~ 90 % RH (結露しないこと)

取付: 壁表面取付または DIN レール取付
寸法: W 175 × H 115 × D 40 mm
質量: 約 400 g

性能

伝送時間: 5 ms

絶縁抵抗: RS-232-C・RS-485 - 出力-電源間
100 M Ω 以上 / DC 500 V

耐電圧: RS-232-C・RS-485 - 出力-電源-大地間
AC 2000 V 1 分間

付属 PC レコーダソフト

- ・PC レコーダソフト総合支援パッケージ (形式: MSRPAC - 2008) が付属します。
- ・MSRPAC - 2008 の内容および PC レコーダソフトに必要なシステム (お客様ご用意) については、MSRPAC - 2008 仕様書をご参照下さい。

適合規格

適合 EC 指令: 電磁両立性指令 (EMC 指令)
(2004 / 108 / EC)

EMI EN 61000-6-4

EMS EN 61000-6-2

低電圧指令 (2006 / 95 / EC)

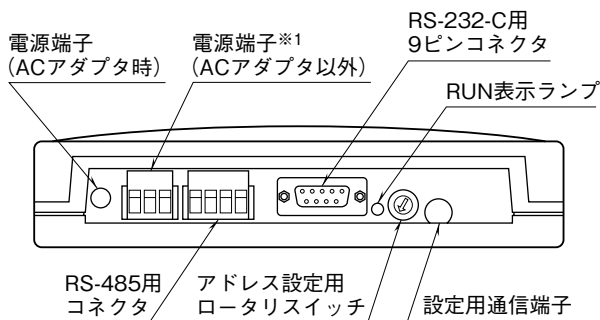
EN 61010-1

設置カテゴリ II、汚染度 2、最高使用電圧 300 V

RS-232-C・RS-485・出力-電源間 強化絶縁

RS-232-C・RS-485 - 出力間 基本絶縁

背面パネル図



※1、BR2電源 (ACアダプタ付) 時は付きません。

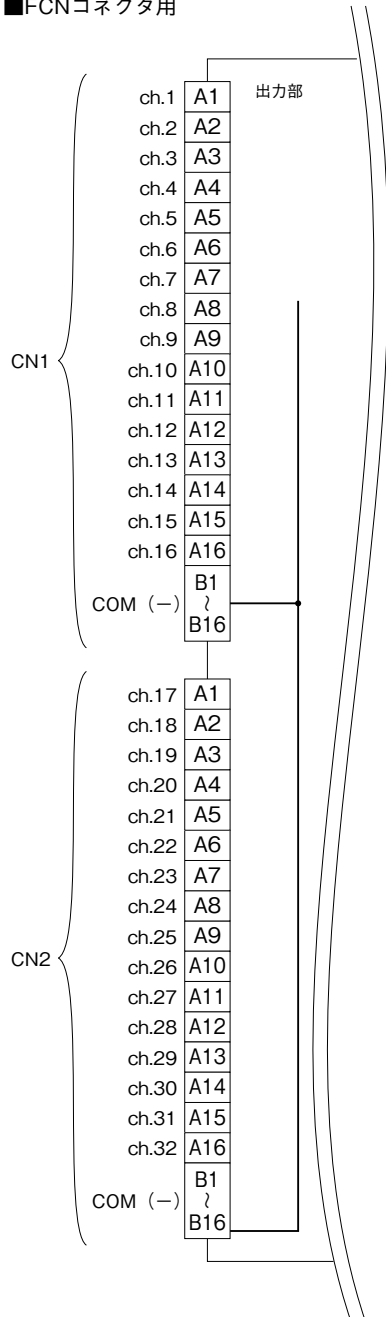
■ RS-232-C インタフェース



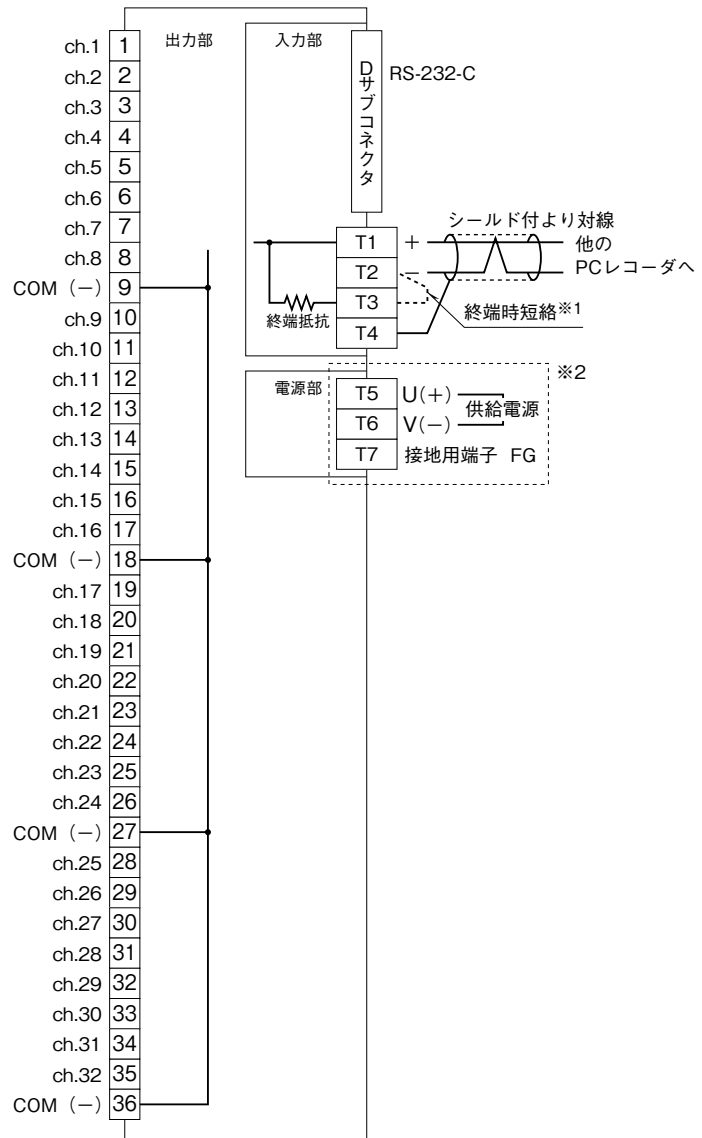
略号	ピン番号	機能	説明
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
SG	5	信号用アース	信号用アース
CS	7	送信可	本器へのデータ送信許可
RS	8	送信要求	送信要求の信号
	1	接続不可	信号の中継など、他の用途に使用しないで下さい。
	4		
	6		
	9		

端子接続図

■FCNコネクタ用

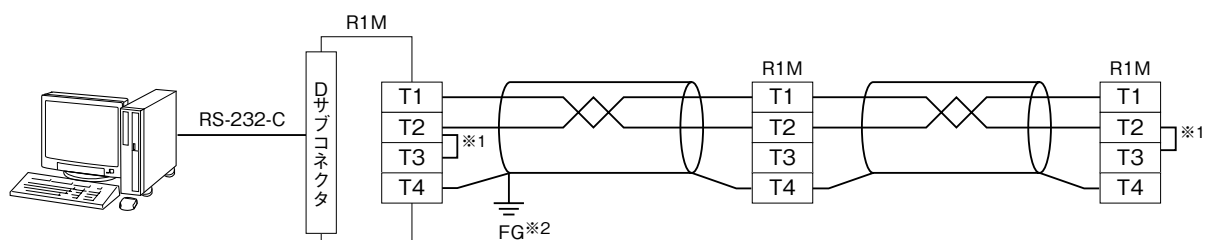


■M3ねじ端子用



- ※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子T2、T3間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子T2、T3間のショートチップをはずして下さい。
- ※2、BR2電源 (ACアダプタ付)時は、ジャックが付きません。

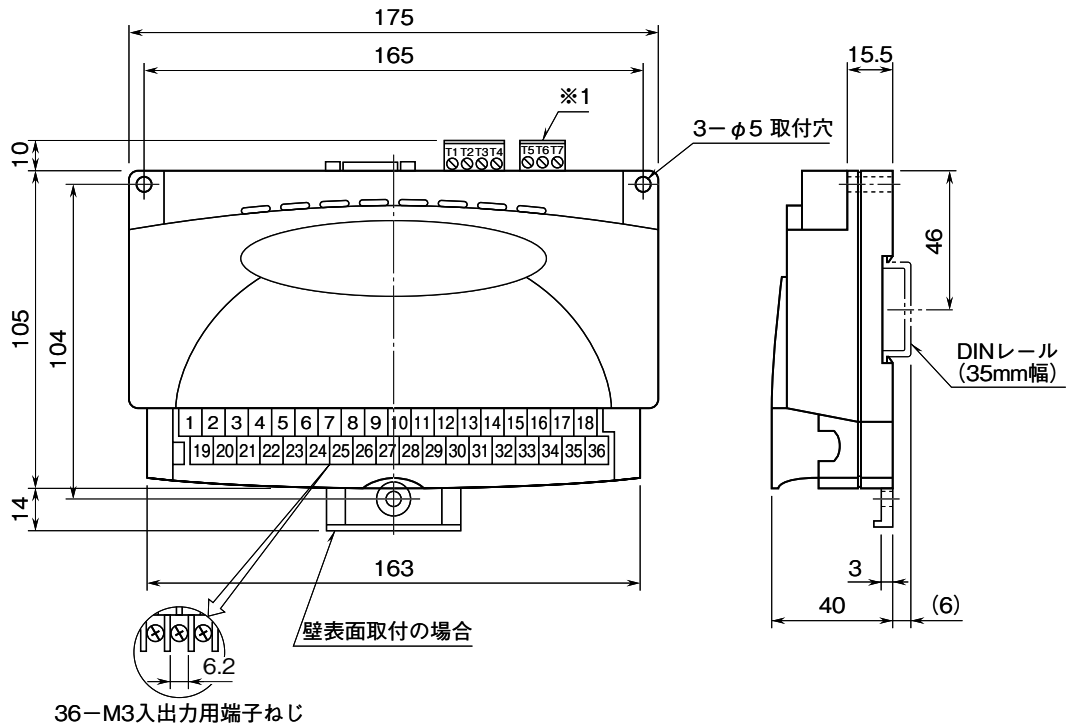
通信ケーブルの配線



- ※1、回路の終端となる場合に、内部の終端抵抗を使用します。
- ※2、シールド線は、ノイズ保護のために全て接続し、1箇所で接地します。

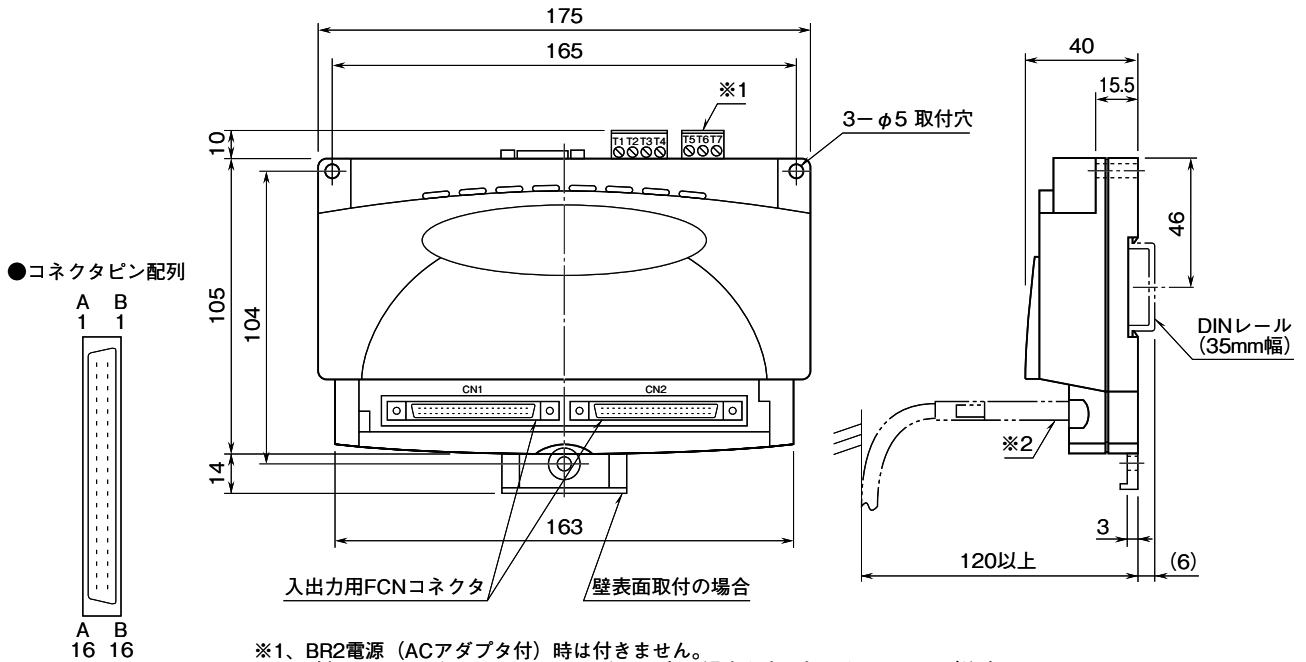
外形寸法図 (単位: mm) ・ 端子番号図

■ R1M - D1T



※1、BR2電源 (ACアダプタ付) 時は付きません。

■ R1M - D1C1

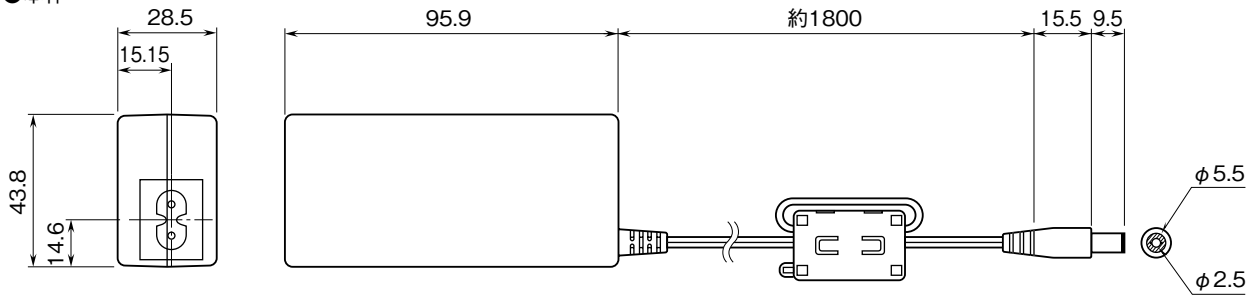


※1、BR2電源 (ACアダプタ付) 時は付きません。
 ※2、破損する恐れがありますので、コネクタ部に過大な力を加えないようご注意ください。

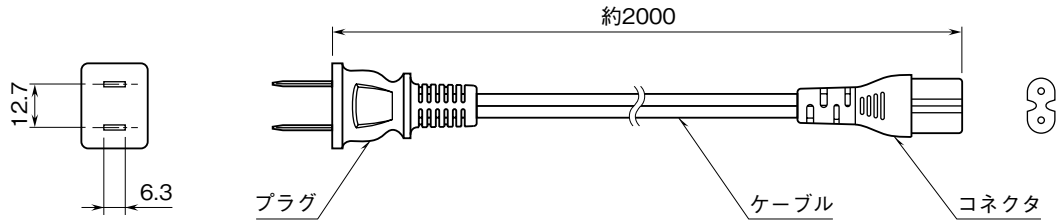
外形寸法図 (単位: mm)

■ACアダプタ

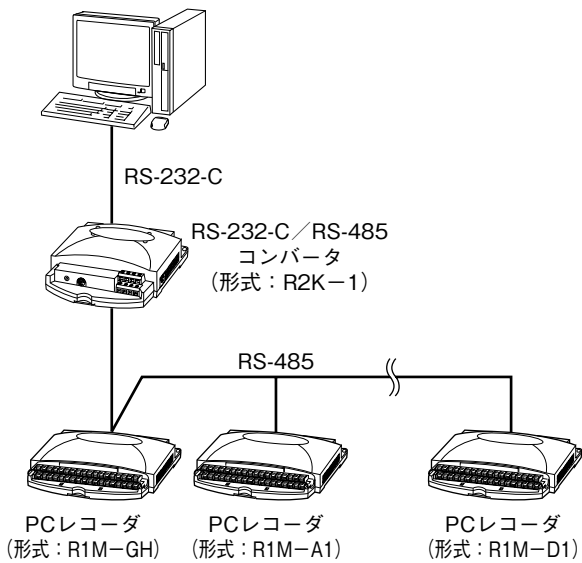
●本体



●ケーブル



システム構成例



RS-485の距離が長い場合はR2K-1でアイソレーションして下さい。